

Form 5

平成 22年1月21日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 和歌山県立日高高等学校 ・土永知子
2. 参加研究者: Herman Hidayat 博士
3. 実施日時: 平成22年1月20日 (水) 13:20~15:10
4. 参加生徒: 2年生 57人 (合計 57人)  
備考: 総合科学科の生徒
5. 講演題目: (英文) Introduction to Indonesia. I love Indonesian forest:How to manage sustainable plantation forestry in ASEAN?  
(和文)インドネシア入門、ASEANでの持続可能な植林について
6. 講演概要: インドネシアと日本についてグラフを用いてを比較した。そして、日本が一番重要なパートナーであることや、インドネシアの文化、博士の略歴を紹介された。インドネシアの森林は熱帯雨林で、森林は保護林として生物多様性を維持するための森林と、紙の原材料を生産する植林として利用されている。植林では成長の早いアカシアやユーカリを効率よく生産している。紙の消費量が増え続けているので、持続可能な植林を維持するためには、経済面、社会面、生態的な面から考えていかなければならない。そのために、紙を節約し、紙の生産過程を意識していく必要がある。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:
  - (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 20分
  - (2) 講演方法 プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳 受入研究者によるサポート  
協力者 職・氏名  
京都大学東南アジア研究所非常勤講師 渡辺一生 博士
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
藤島高校で使われたパワーポイント、ナショナルジオグラフィック誌、インターネットの情報
9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金
10. その他特筆すべき事項: